

2025年1月16日

日鉄エンジニアリング株式会社

ニュースリリース

TNSの取り組みを国際社会保障協会などがVISION ZEROとして認定

～タイの建設部門として初～

日鉄エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：石倭行人、本社：東京都品川区、以下「当社」）の連結子会社である THAI NIPPON STEEL ENGINEERING & CONSTRUCTION CORPORATION, LTD.（代表取締役社長：渡辺正弥、以下「TNS」）の取り組みが、国際社会保障協会（International Social Security Association、以下「ISSA」）^{※1}およびISSAに所属するタイ労働安全衛生促進協会（The Safety and Health at Work Promotion Association Thailand、以下「SHAWPAT」）^{※2}から、「VISION ZERO」の認定を受けましたのでお知らせいたします。

ISSAは職場における労働災害や職業性疾病をゼロにすることを目指して「VISION ZERO キャンペーン」^{※3}を国際的に展開しており、その一環としてSHAWPATは「Thailand VISION ZERO」を推進しています。今回の認定は、TNSが安全衛生管理システムを適切に整備したうえで事業運営をしている点が「Thailand VISION ZERO」の取り組みとして高く評価されたもので、建設部門での認定はTNSが初となります。また本認定と併せて、SHAWPATから優れた安全衛生管理への取り組みが認められ、OSH（Occupational Safety and Health）Leadership 賞を受賞しました。

なお、認定式および受賞式はSHAWPATが加盟するアジア太平洋労働安全衛生機構（Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization）^{※4}の年次会議に併せてバンコクで2024年11月15日に行われました。

日鉄エンジニアリンググループは、今後も国内外のすべての現場において安全衛生活動を推進し、サステナビリティ社会の実現に貢献してまいります。

- ※ 1 各国の社会保障機関・団体を会員とする国際機関で、1927年にILOの協力を得てジュネーブに設立。ISSAの憲章上の使命は「社会正義を基礎に人々の社会・経済状態を向上させるために、世界全体の社会保障の促進及び開発において、主としてその技術・管理面の改善を通じて国際レベルで協力すること」。日本では厚生労働省、健康保険組合連合会、公益社団法人国民健康保険中央会、日本年金機構が会員。
- ※ 2 タイにおける労働安全衛生協会で、国家安全週間などを実施する主体として1987年にバンコクに設立。
- ※ 3 ISSAにより、2017年9月にシンガポールで開催された第21回世界労働安全衛生会議において開始された、職場における労働災害、職業性疾病、危険要因をゼロにすることを旨とする国際的なキャンペーン。
- ※ 4 アジア太平洋地域の労働安全衛生活動を促進する国際団体として1985年に設立。

(参考) TNSのニュースリリース

<https://www.thainippon.co.th/news/safety-leadership-award-thailand-vision-zero-award/>



【授賞式の模様（写真中央が TNS 渡辺正弥社長）】

【お問い合わせ先】

サステナビリティ・広報部 広報室

URL : <https://www.eng.nipponsteel.com/enquete/all/>

以上